

使徒信条

わたしは、天地の造り主、全能の父なる神を信じます。

わたしは、そのひとり子、わたしたちの主、イエス・キリストを信じます。主は聖霊によってやどり、処女マリアから生まれ、ポンティオ・ピラトのもとで苦しみを受け、十字架につけられ、死んで葬られ、陰府にくだり、三日目に死者のうちから復活し、天に昇って、全能の父なる神の右に座しておられます。そこから来て、生きている者と死んでいる者とを審かれます。

わたしは、聖霊を信じます。聖なる公同教会、聖徒の交わり、罪の赦し、からだの復活、永遠のいのちを信じます。アーメン

主の祈り

天にまします我らの父よ、

願わくは御名をあがめさせたまえ。

御国をきたらせたまえ。

御心の天になるごとく、地にもなさせたまえ。

我らの日用の糧をきょうも与えたまえ。

我らに罪を犯す者を、我らが赦すごとく、

我らの罪をも赦したまえ。

我らを試みにあわせず、悪より救い出したまえ。

国とちからと栄とは、

限りなく汝のものなればなり。アーメン

初めて礼拝に参加なさる方への御案内

- ・教会の礼拝は、信者だけのものではありません。どなたでも、いつでも参加できます。
- ・礼拝は、「見えない神と対面するとき」です。砕かれた自分を携えて礼拝に臨みましょう。
- ・礼拝では、イエス・キリストを証言する聖書を読み、その聖書を説き明かす説教が行なわれます。イエス・キリストの御言葉と生きる姿を通して、私たち自身の生きる道を尋ねましょう。
- ・礼拝では、讃美歌を歌い、祈ります。これらは神への信頼を表し、また神の恵みに応えて感謝を捧げるものです。
- ・礼拝では、自分自身をささげて神に従う献身のしるしとして、献金を捧げます。今は、献身のしるしとして捧げる事は難しいと感じる方が、神への感謝のしるしとして捧げることもまた礼拝に相応しいことです。人の目や金額の大小を思わず、心そのままにお捧げ下さることは、神と人へと仕えて生きる新しい歩みの第一歩となるはずです。



←礼拝ライブはフェイスブックから
週報はホームページにも掲載→



礼 拝 毎日曜 午前10:10より
日曜学校 毎日曜 午前 9:30より
祈り会 毎水曜 午前10:30より
午後 6:30より

*牧師との面談を希望される方はご連絡下さい。



週 報

2021. 4. 18.

すると正しい者たちが王に答える。
『主よ、いつわたしたちは、飢えておられるのを見て食べ物を差し上げ、のどが渇いておられるのを見て飲み物を差し上げたでしょうか。いつ、旅をしているのを見てお宿を貸し、裸でおられるのを見てお着せしたでしょうか。いつ、病気をなさったり、牢におられたりするのを見て、お訪ねしたでしょうか。』そこで王は答える。『はっきり言うておく。わたしの兄弟であるこの最も小さい者の一人にしたのは、わたしにしてくれたことなのである。』

(マタイ25:37~40)

日本キリスト教会

札幌豊平教会

〒062-0906 札幌市豊平区豊平6条3丁目5-15

電話 (011) 811-6838

送金には、郵便局から振替口座をご利用ください。振替 02790-7-9082

口座名義：日本キリスト教会札幌豊平教会

メール toyohirachurch@jcom.home.ne.jp

HP <https://www.ccjtoyohira.com/>

北海道中会ホームページ <http://nikki-hokkaido.net/>

復活節第3主日

招きの言葉：箴言3：5～7

心を尽くして主に信頼し、自分の分別には頼らず、常に主を覚えて、あなたの道を歩け。そうすれば、主はあなたの道をまっすぐにしてくださる。自分自身を知恵あるものと見るな。主を恐れ、悪を避けよ。

讃美歌 I-545

聖書 使徒言行録9：1～9 (新p229)

祈り

説教 「なぜ、わたしを迫害するのか」

讃美歌 I-249 (1,2,4節)

聖餐

讃美歌 I-205 (1,2,4節)

献金

主の祈り

頌栄 I-541

祝祷

アーメン三唱

後奏 (聴いた御言葉と派遣されて行く者としての理想を覚えて、各自黙祷を)

きょうの聖書

- さて、サウロはなおも主の弟子たちを脅迫し、殺そうと意気込んで、大祭司の所へ行き、
- ダマスコの諸教会あての手紙を求めた。それは、この道に従う者を見つけ出したら、男女を問わず縛り上げ、エルサレムに連行するためであった。
- ところが、サウロが旅をしてダマスコに近づいたとき、突然、天からの光が彼の周りを照らした。
- サウロは地に倒れ、「サウル、サウル、なぜ、わたしを迫害するのか」と呼びかける声を聞いた。
- 「主よ、あなたはどなたですか」と言うと、答え

があった。「わたしは、あなたが迫害しているイエスある。

- 起きて町には入れ。そうすれば、あなたのなすべきことが知らされる。」
- 同行していた人たちは、声は聞こえても、だれの姿も見えないので、ものも言えず立っていた。
- サウロは地面から起き上がり、目を開けたが、何も見えなかった。人々は彼の手を引いてダマスコに連れて行った。
- サウロは三日間、目が見えず、食べも飲みもしなかった。

《2021度主題》

『他者と共に、他者のために～食でつながる心と命～』

聖書 創世記1：28

神は彼らを祝福して言われた。

「産めよ、増えよ、地に満ちよ。地を従わせよ。海の魚、空の鳥、地の上を這う生き物を全て支配せよ」

今週の集会

- ・本日、11:30 建具・12:30 屋外塗装の見積
- ・20日(火)10:00 ニットリフォームG
- ・21日(水)10:30 祈り会(オンライン併用) /18:30 祈り会
- ・22日(木)9:30～/11:00～ ガンバルーン体操教室
10:00～14:00 弁当調理
18:30 7・7 平和集会実行委員会 (牧師参加)
- ・23日(金)9:00 弁当作り(12:30 教会前で手渡し)
11:15～外国人留学生・路上へ、札幌バプテスト・聖公会札幌キリスト教会にて弁当手渡し
- ・24日(土)10:30 キリスト教信仰Q&A (オンライン併用)

今週の牧師の予定 (省略)

次主日の予告 (2021年4月25日)

礼拝 復活節第4主日 (ライブ配信)

聖書 使徒言行録9：10～19a① (新p230)

説教：「神が選んだ器」 稲生牧師

讃美歌 I-545, 249, 205, 541

報告

- ・11日の礼拝出席31名、幼児1、献金15,405円。
高校生以上の集い：休止
- ・14日(水)祈り会Ⅰ：7名(対面・リモート併用)Ⅱ：3名
- ・16日(金)とよひら食堂：151食(教会前42、札バプ42、聖公35、留学生会館5)大通20、ボラ12名(7食)
- ・17日(土)キリスト教信仰Q&A：2名(対面)

お知らせ

*5月9日(日)礼拝後、伝道開始115周年教会設立61周年記念講演会「フードバンクの立ち上げ、そこから見える人と社会(仮題)」講師：片岡有喜子さん(NPO法人フードバンク・イコロさっぽろ理事長)片岡さんは、2児の母として子育ての傍らフードバンクを立ち上げて、格差社会に向かい合う日々を過ごす。イコロ・さっぽろさんには、毎週の弁当作りのための大量の食材をお世話いただき、「とよひら食堂」の取り組みを支えて下さるフードバンクの一つ。感謝と敬意をもって、片岡さんのお話に耳を傾けたいと思います。実は新型コロナ感染症拡大防止の観点から、昨年は計画するも実現を見なかった「幻の講演会」の実現です。このたびは、フードバンクの倉庫からZOOMで配信を頂きます。教会では、プロジェクターとスクリーンを用いて、どの席からでも見えるように準備を進め、三密を避けて講演を伺います。ZOOMを利用して、質疑応答も出来ます。ZOOMによる講演会等は、豊平教会としては初の試みですが、集会実施の一つの方法として習熟していきたいと思っています。

*昨日は、福沢宏さん・布施久美子さん(バロック・コレギウム・サッポロ)のビオラ・ダ・ガンバのコンサートが行われました。コロナ対策を取り50席限定。ひとつの試みですが、古楽器の響きに心が和み開かれる時でした。

*4～10月期の礼拝出席を支えるためのタクシークーポン受付中。牧師か長老までご相談ください。